

矢崎科学技術振興記念財団 研究助成金など決定

（名古屋大学大学院理学研究科准教授）「分子性ナノ金属触媒の創製とエネルギー変換反応」▼堀毛悟史氏

（公財）矢崎科学技術振興記念財団（細川興一理事長）は令和元年度の「研究助成金」受領者14人、「国際交流援助」受領者13人、「矢崎学術賞」2人を決定したと発表した。

矢崎学術賞・功績賞は、水口将輝氏（東北大学金属材料研究所准教授）が研究題目「磁性ナノ構造の創製とスピントロニクスデバイスへの応用展開」で受賞。矢崎学術賞・奨励賞は坂本良太氏（京都大学大学院工学研究科准教授）が研究題目「エレクトロニクス・スピントロニクスへ応用可能な『ポトムアップ型』金属錯体ナノシート」で受賞した。

（京都大学高等研究院物質細胞統合システム拠点准教授）「金属イオン含有イオン液体ネットワークによる無加湿プロトン伝導体の合成」▼本倉健氏（東京工業大学物質理工学院准教授）「金属ケイ素を還元剤とするCO₂直接変換のための酸塩基触媒の創製」

△エネルギー▼砂田祐輔氏（東京大学生産技術研究所准教授）「最少量の貴金属で駆動する金属ナノシート分子触媒の創出」▼土屋敬志氏（物質・材料研究機構国際ナノアーキテクトニクス研究拠点主任研究員）

「リチウム及び多価イオン固体電解質における界面分極挙動の定量評価」

△情報▼小野智司氏（鹿児島大学学術研究院理工学域准教授）「異常検知や変化点検知における教師信号付き学習データの合成方式の提案」▼李洪譜氏（静岡大学工学部機械工学科教授）「波長及びOAMモード多重光通信のための多チャンネル螺旋状ファイバ回折格子の開発」

一般研究助成の受領者は次の通り。
△新材料▼大木靖弘氏